

美濃焼の伝統を 引き継ぐまち

Tradition

CERAMIC
VALLEY
Mino
Japan

セラミックバレー

世界は美濃に憧れる。

多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市は、良質な陶土に恵まれ、1300年の長きに亘りやきものの産業と文化が息づいています。作家や窯元、商社、関連企業が集うこの世界有数の一大生産地を「セラミックバレー」と新たに名付けました。

多治見市では、美濃焼の文化や技が代々受け継がれ、個性豊かな窯元や、国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）を生み出しました。また、早くから分業化が進んだ美濃焼を日本全国へ広げた商人の営みは、今日もやきもの業界をリードする多治見市の礎を築きました。

地場産業としての美濃焼、その歴史とともに育まれた本市の文化は、世界に誇れる財産です。他の都市との差別化を図るためには、美濃焼の魅力を活用することが最も効果的です。セラミックバレーの一翼を担う本市から美濃焼の魅力を世界に向けて発信することにより、陶磁器産業に携わる人々や陶芸家を志す若者が憧れるまちになっています。



土と炎の国際交流

国際陶磁器フェスティバル美濃'17で作品の説明に耳を傾ける眞子内親王殿下。国際陶磁器フェスティバル美濃は岐阜県多治見市・瑞浪市・土岐市・可児市を舞台に、昭和61(1986)年から3年に1度開催している世界最大級の陶磁器の祭典です。国内外から多数の作家や企業が参加し、常にやきもの文化に新風を吹き込みます。



窯元の工房 などで体験もできる作陶

